

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年6月19日
NO.3 文責 菊谷

キャリア

人にやさしい帯広を考える(手話出前講座)

キャリアプランニング能力の育成を目指します。ステキな大人の姿から、自分の未来について考えます。

6月17日(月)、帯広ろう者協会から3名の講師の方と、3名の通訳の方を招いて、6年生の「手話講座」が行われました。

幼少期に、耳が聞こえていないことに親や兄弟が気付くことになったできごとや、家族の話から講座がスタート。子どもたちは講師の先生の口元や手元を真剣に見て、手話を覚えようとしていました。

「手話で伝えるポイントは・・・」

- ①相手の目を見る。
- ②気持ちをこめて(顔・お辞儀)
- ③伝えたいという気持ちで。

この3つです。手話に限ったことではないですが、目や表情、うなずき、身振り手振りも交えて伝えたい気持ちを伝えることは、手話ができなくても「伝えたい」という気持ちさえあれば必ず相手に伝わるということを学びました。

また、子どもたちは習った手話で、拍手(手を頭上でひらひらさせます)をしたり、質問に答えてくださった講師の方に手話でお礼をしたりして気持ちを伝えていました。「積極的にかかわりたい」「自分にできることは何か」について考えることができた講座でした。

～感想・ふりかえり～



- ヘルプマークというものを初めて知りました。助けてほしいことなどが書いてあることもわかったので、見かけて困っていたら助けてあげようと思いました。
- 耳が聞こえない人と会話をするとき、顔の表情や「このことを伝えたい！」という気持ちが大切なんだとわかりました。自分に関係ないと思うのではなく、どういふうに仲よくなれるかを考えたい。
- ろう者の方がまわりにいたら、手話ができなくても、紙に書いたり、身振りで伝えたりすることができるとわかりました。でも、手話の勉強をしてみたいです。
- 「やさしく対応してもらえると嬉しい」と言う、ろう者の方の言葉を胸に、これからの生活を送っていこうと思いました。